

USFiles *Plus*TM

Version 3.50

Update Information

July 2011

Embedded Solution Partner

日新システムズ

はじめに

この度は、USFilesPlus をお買い上げ頂き有り難うございます。
このドキュメントは、USFilesPlus のバージョンアップに伴う修正 / 更新履歴です。

詳細につきましては、ソフトウェアに含まれておりますコメントおよびソースコードをご覧ください。

所有権についての注意事項：

USFilesPlus は米国 Lantronix 社（旧 USSoftware 社）との業務提携により、（株）日新システムズが独自に製品化したものです。

このマニュアルとソフトウェアには、（株）日新システムズとのライセンスの中で規定されているものを除いて、コピーおよび開示は禁じられております。このマニュアルに含まれている内容については予告無しに変更する事があります。記載の会社名、商品名は各社の登録商標です。

目次

USFilesPlus Ver. 3.50 での主な機能追加	1
1. Linux対応	1
USFilesPlus Ver. 3.50 更新履歴	2
USFilesPlus (FAT12、FAT16、FAT32、VFAT)	2
USFilesPlus exFAT	3
1. 4GB以上のファイルの扱いが出来ない場合がある	3
2. 64bit環境によるexFAT形式のフォーマットの不具合	3
3. exFAT形式の物理フォーマットの互換性向上	3
USFilesPlus CD-ROM	4
USFilesPlus SPIドライバ	5
1. カードにより認識しない場合がある	5

USFilesPlus Ver. 3.50 での主な機能追加

1. Linux対応

本バージョンより、Linux 上で USFilesPlus exFAT が動作するパッケージを新規追加しました。
Linux 上で USFilesPlus exFAT をご利用頂くためには、USFilesPlus exFAT for Linux のパッケージが必要です。尚、本パッケージで、exFAT 及び、FAT32、VFAT をご利用頂くことが可能になります。
本パッケージのご利用方法については、以下のファイルをご覧ください。

<パッケージ CD-ROM> ¥doc ¥usfilesplus_exfat_linux_QuickStartGuide.doc

USFilesPlus Ver. 3.50 更新履歴

USFilesPlus (FAT12、FAT16、FAT32、VFAT)

FAT12/16/32、VFAT に関する変更は御座いません。

USFilesPlus exFAT

件名	1. 4GB 以上のファイルの扱いが出来ない場合がある
内容	64bit 環境及び、exFAT 有効時に 4GB 以上のファイルに対して、mt_fseek、getf_size、free_byte_cnt 及び、total_byte_cnt を使用することが出来ない。
原因	4GB 以上のファイルを扱うための処理が不完全であったため、正常に動作しませんでした。
対象	mtio.h fileio.c、pcfmapi.c
件名	2. 64bit 環境による exFAT 形式のフォーマットの不具合
内容	64bit 環境において、exFAT 形式でフォーマットを行った後、Windows 環境などでメディアを確認すると、認識することができない。
原因	64bit 環境での、unsigned long 型のサイズを考慮しないでシフト演算を行っていたため、BOOT のチェックサム領域に正しい値が設定されず、正常に認識することができませんでした。
対象	formatex.c
件名	3. exFAT 形式の物理フォーマットの互換性向上
内容	オプションの位置付けの処理である「OEM Parameters」部分の初期化を行っていなかったために、exFAT 形式の SD フォーマットを実施した場合に、機器によってはそのカードを認識できない場合があった。 そのため、互換性向上のために、BPB 領域の初期化時に「OEM Parameters」部分の初期化を実施するようにしました。
対象	formatex.c

USFilesPlus CD-ROM

CD-ROM オプションに関する変更は御座いません。

USFilesPlus SPI ドライバ

件名	1. カードにより認識しない場合がある
内容	下記のハードウェア環境と SD カードの組み合わせにより、認識しない場合がある ハードウェア：LANTRONIX 社製 MatchPort-AR 評価ボード SD カード：Transcend 社製 Sdk カード 256MB (型番：TS256MSD80)
原因	SPI ドライバの処理において、Single Block Write 時の送信完了時に、CRC の送信処理が抜けていたため。
対象	spiprot.c